

令和6年度 施策評価シート

基本目標		「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政策	110	伝統文化を継承、発展させ、新たな文化・芸術を創造する
施策	111	郷土の歴史・文化を継承し、発展させる
施策の目標	すみだの歴史や文化に区民がふれることで、郷土に対する理解・愛着が深まり、さらに区民が将来にわたり本区の特色ある伝統文化を継承、発展させ、文化財が大切に保護されています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「伝統文化が保護、継承されている」と思う区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					77.0%					80.0%
実績	71.6%				73.7%					
指標名	「墨田区の歴史や文化を学んでいる」区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					39.0%					50.0%
実績	24.1%				26.4%					

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
墨田区の歴史や伝統文化を将来にわたり継承、発展させるため、今後も資料の収集・保存、展示、調査研究等の活動を積極的に展開していく必要があるが、区民、観光客を含む多くの人にそれらの魅力をいかに発信し本区の歴史や文化を身近に感じてもらうかが課題といえる。	R3	89,335
	R4	341,222
	R5	105,935

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	所有する文化財等を活用し、墨田の歴史・文化を区民に発信していくという点で一定の成果は得られている。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
文化財の保護や保存、普及、活用に区が取り組むべき必要性は高く、これまでも調査研究の成果を展示や講座等の開催など様々な取り組みを行うことで、一定の成果を上げることができた。	
【今後の具体的な方針】	
区民が、すみだの歴史や文化にふれる機会を増やすことで郷土に対する理解や愛着が深まり、将来にわたり伝統文化を継承、発展させる。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
						評価対象年度
1	すみだ郷土文化資料館管理運営	18,643	9,363	28,006	14,000	現状維持
					13,763	令和5年度
2	すみだ郷土文化資料館事業	32,611	14,458	47,069	14,000	現状維持
					13,763	令和5年度
3	文化財保護事業	28,576	4,676	33,252	158	現状維持
					155	令和5年度
4	埋蔵文化財発掘調査と保管場所	19,992	13,187	33,179	60	現状維持
					64	令和5年度
5	立花大正民家園維持管理	6,113	2,554	8,667	2,000	現状維持
					2,047	令和5年度
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

令和6年度 事務事業評価シート

施策	111	郷土の歴史・文化を継承し、発展させる	部内優先順位
事業名	すみだ郷土文化資料館管理運営		1
目的	区民の郷土文化に対する理解を深め、郷土意識の高揚を図ることで、広く教育、学術及び文化の発展に資する。		主管課・係（担当）
			地域教育支援課 すみだ郷土文化資料館 03-5619-7034
対象者			
根拠法令 関連計画	すみだ郷土文化資料館条例、同条例施行規則		
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 常勤1・会計年度任用1、委託先：明治企業(株) 受付業務、(株)ユアン(清掃業務)
事業内容	すみだ郷土文化資料館の維持管理及び施設運営		
経過	開始年度	平成10年度	終了予定
	平成10年4月12日 開館 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日(土)～5月31日(日)臨時休館 令和3年4月28日(水)～5月31日(月)臨時休館 大規模修繕工事のため、令和4年9月5日(月)～令和5年3月28日(火)臨時休館		
議会質問 の状況	令和2年決算特別委員会 施設の老朽化に対する対応について 令和3年決算特別委員会 施設の修繕予定と今後の展望について 令和5年決算特別委員会 大規模修繕工事の内容について		
その他 特記事項	令和4年度 令和4年9月5日(月)～令和5年3月28日(火)臨時休館し 大規模修繕工事(空調設備、電気設備、外壁・屋上等の補修)を実施		

予算・決算額推移(単位:千円)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額(事業費)		20,349	22,049	21,080	296,883	23,314	23,670
A.決算額(令和6年度は見込み)		19,182	20,204	19,033	263,131	18,643	23,670
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	705	401	706	360	766	1,017
一般財源		18,477	19,803	18,327	262,771	17,877	22,653
執行率(%)		94.3%	91.6%	90.3%	88.6%	80.0%	100.0%
B.人コスト		9,612	9,704	9,675	8,997	9,363	
総事業決算額(A+B)		28,794	29,908	28,708	272,128	28,006	
予算書P(令和6年度)	P263-1	執行実績報告書P(令和5年度)			P198-1		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	光熱水費、消耗品等	4,617	需用費	光熱水費、消耗品等	3,503	需用費	光熱水費、消耗品等	6,402
役務費	清掃委託等	3,408	役務費	清掃委託等	2,541	役務費	清掃委託等	2,619
委託料	受付・空調保守等	7,691	委託料	受付・空調保守等	9,868	委託料	受付・空調保守等	12,269
使用料及び賃借料	展示・事務機器リース	1,313	使用料及び賃借料	展示・事務機器リース	1,313	使用料及び賃借料	事務機器リース	1,493
工事請負費	大規模修繕	245,611	工事請負費	発電装置部品交換等	975	工事請負費	維持補修費	760
備品購入費	モニター機器購入	494	備品購入費	空気清浄機購入	446	備品購入費	電気掃除機購入	127

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	講座・講演会等参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2600	令和7年度	目標	2,300	2,300	2,300	2,300
				実績	3,652	3,603	3,674	1,776
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,600	1,000	500	2,000	2,300	2,600
	実績	323	286	867	2,075			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	講座・講演会等参加者の数に応じ、区民の墨田区の歴史、伝統文化に対する関心度を確認できる。目標値については毎年実施する催しの回数と参加者数に基づき算出している。令和5年度は4年ぶりに講演会などのイベントを再開、学校連携事業もコロナ前に近い形で実施し目標値を達成した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	入館者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		17000	令和7年度	目標	16,000	16,000	16,000	16,000
				実績	13,671	14,155	14,270	11,966
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	17,000	10,000	5,000	14,000	15,000	17,000
実績	6,365	7,457	3,763	13,763				
指標の選定理由及び目標値の理由								
資料館の入館者数に応じ、区民の墨田区の歴史、伝統文化に対する関心度を確認することができる。令和5年度は大規模修繕後の再開に合わせて外壁の装飾化や大型モニターの設置、隅田公園内の掲示板やデジタルサイネージの活用など発信力を強化した。その結果、コロナ前である令和元年度の数字を超えた。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区の郷土文化を区内外に広く知ってもらう事業として、区が取り組む必要性は高い。特に、すみだならではのテーマを扱った魅力ある企画展、小中学生への教育普及事業に力を入れ、引き続き実施していく必要がある。受付業務・清掃及び施設設備保守等の施設維持にかかる業務の委託化により、経費削減に努めている。

課題・問題点
令和4年度の大規模修繕工事を終え、懸案であった空調や照明等の電気設備などを更新しエネルギー効率も改善したが、展示ケースの劣化などの課題が残り、展示・収蔵環境の改善を図っていく必要がある。博物館として重要な役割である資料の保存・継承と活用の両立のほか、来館者増へ向けて館の魅力向上のため、ハード面の整備を引き続き進めていく。

施策	111	郷土の歴史・文化を継承し、発展させる			部内優先順位
事業名	すみだ郷土文化資料館事業				2
目的	区民の郷土文化に対する理解を深め、郷土意識の高揚を図ることで、広く教育、学術及び文化の発展に資する。				主管課・係(担当)
					地域教育支援課 すみだ郷土文化資料館 03-5619-7034
対象者					
根拠法令 関連計画	博物館法、すみだ郷土文化資料館条例、同条例施行規則				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1・会計年度任用4
事業内容	区民の郷土文化に対する理解を深め、郷土意識の高揚を図るとともに、広く教育・学術及び文化の発展に資するため、資料の収集・保存及び展示に関する事業などを行う。				
経過	開始年度	平成10年度		終了予定	
	平成10年4月12日 開館 20年度:開館10周年記念特別展を実施 24年度:東京スカイツリー開業記念年間特別展示を実施 26年度:シリーズ探訪向島をテーマに企画展を実施 27年度:終戦70年平和祈念展示を実施 29年度:区制70周年記念展示を実施 30年度:開館20周年記念特別展を実施 令和5年度:開館25周年記念展示を実施				
議会質問 の状況	令和3年第4回定例会本会議 隅田公園から誘客するための動線の工夫について 令和3年第4回定例会子ども文教委員会 入館者増へ向けた取組について、関東大震災の展示について 令和4年第1回定例会本会議 出張展示の実施について 令和4年決算特別委員会 資料館に図書館機能を付加することについて 令和5年決算特別委員会 学校連携事業の内容と周知について				
その他 特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額(事業費)		28,073	31,974	32,285	29,228	36,417	41,255
A.決算額(令和6年度は見込み)		26,232	27,700	28,616	26,689	32,611	41,255
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	307	176	311	360	766	335
一般財源		25,925	27,524	28,305	26,329	31,845	40,920
執行率(%)		93.4%	86.6%	88.6%	91.3%	89.5%	100.0%
B.人コスト		13,981	14,288	14,073	13,221	14,458	
総事業決算額(A+B)		40,213	41,988	42,689	39,910	47,069	
予算書P(令和6年度)	P263-2	執行実績報告書P(令和5年度)			P198-2		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報酬	学芸員、事務員	16,900	報酬	学芸員、事務員	16,926	報酬	学芸員、事務員	17,611
職員手当等	学芸員、事務員	3,415	職員手当等	学芸員、事務員	3,647	職員手当等	学芸員、事務員	6,785
報償費	ボラ謝礼他	0	報償費	ボラ謝礼他	299	報償費	ボラ謝礼他	807
旅費	職員	86	旅費	職員	108	旅費	職員	120
需用費	ポスター等印刷、消耗品	2,226	需用費	ポスター等印刷、消耗品	3,365	需用費	ポスター等印刷、消耗品	4,398
役務費	チラシ郵送、駅貼り広告	354	役務費	チラシ郵送、駅貼り広告	1,960	役務費	チラシ郵送、駅貼り広告	3,200
委託料	パネル作成等	1,173	委託料	パネル作成等	3,313	委託料	撮影、修復、パネル等	5,478
使用料及び賃借料	展示品・機器借用	354	使用料及び賃借料	展示品・機器借用	565	使用料及び賃借料	展示品・機器借用	656
備品購入費	浮世絵等資料購入	2,185	備品購入費	浮世絵等資料購入	2,433	備品購入費	浮世絵等資料購入	2,200

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	講座・講演会等参加者数					単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
		2600	令和7年度	目標	2,300	2,300	2,300	2,300	
				実績	3,652	3,603	3,674	1,776	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目標	2,600	1,000	500	2,000	2,300	2,600	
	実績	323	286	867	2,075				
指標の選定理由及び目標値の理由									
講座・講演会等参加者の数に応じ、区民の墨田区の歴史、伝統文化に対する関心度を確認できる。目標値については例年実施する催しの回数と参加者数に基づき算出している。令和5年度は4年ぶりに講演会などのイベントを再開、学校連携事業もコロナ前に近い形で実施し目標値を達成した。									
事業の 成果	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	入館者数					単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
		17000	令和7年度	目標	16,000	16,000	16,000	16,000	
				実績	13,671	14,155	14,270	11,966	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目標	17,000	10,000	5,000	14,000	15,000	17,000	
	実績	6,365	7,457	3,763	13,763				
指標の選定理由及び目標値の理由									
資料館の入館者数に応じ、区民の墨田区の歴史、伝統文化に対する関心度を確認することができる。令和5年度は大規模修繕後の再開に合わせて外壁の装飾化や大型モニターの設置、隅田公園内の掲示板やデジタルサイネージの活用など発信力を強化した。その結果、コロナ前である令和元年度の数字を超えた。									

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区の郷土文化を区内外に広く知ってもらう事業として、区が取り組む必要性は高い。特に、すみだならではのテーマを扱った魅力ある企画展、小中学生への教育普及事業に力を入れ、引き続き実施していく必要がある。 区の郷土文化にゆかりの深い資料の収集・保存を的確に行い、その資料をもとに魅力ある展示等を企画・発信するとともに、図書館や大学、観光部署等と連携し、より多くの人々にすみだの歴史や文化に対する理解を深めていただく。

課題・問題点
展示等の事業内容を工夫するとともに、誘客に向けて発信力を強化し、より多くの人々にすみだの歴史や文化に親しみ、理解してもらうことが課題である。また、学校教育との連携を深め、ICT機器の活用など実施方法を工夫し子どもたちの興味・関心を喚起することに加え、関係部署やボランティアとも連携しながら、事業の新展開を図っていく必要がある。

施策	111	郷土の歴史・文化を継承し、発展させる				部内優先順位
事業名	文化財保護					3
目的	文化財の保護・管理を適切に行うことで、先人の遺した大切な文化財を後世に引き継ぐとともに、区内の文化財を区民に周知することにより、区民が区の歴史や伝統文化に関心を持ち、文化を継承し、発展させていく。					主管課・係（担当）
						地域教育支援課・文化財担当
						03-5608-6310
対象者	区登録文化財の保護・保存にあたってはいる方及び区内の歴史や文化財への普及・啓発を図る対象である区民・観光客					
根拠法令 関連計画	・文化財保護法 ・墨田区文化財保護条例及び施行規則					
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2、会計年度任用職員6	
事業内容	地域の文化遺産を地域全体で保存・活用していくため、すみだの歴史や文化に区民がふれる機会を増やし、郷土に対する理解・愛着を深め、郷土愛の醸成や文化の継承を図っている。そのための事業として、文化財の保護と活用及び伝統工芸の保存普及等を行っている。					
経過	開始年度				終了予定	
	昭和52年9月1日 墨田区文化財保護調査員設置要綱を設置、区内文化財の全体調査を開始 昭和57年4月1日 墨田区文化財保護条例及び施行規則を設置、区内文化財の登録を開始					
議会質問の状況						
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) ・例年10～11月に東京都主催「東京文化財ウィーク」に参加し、区内史跡めぐりや伝統工芸体験講座を実施している。 ・平成26年度から、すみだ地域資料データベースを開設し、Web公開している。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額（事業費）		22,932	24,783	22,152	25,143	29,312	31,420
A.決算額（令和6年度は見込み）		20,740	21,846	21,588	24,842	28,576	31,420
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		20,740	21,846	21,588	24,842	28,576	31,420
執行率（％）		90.4%	88.1%	97.5%	98.8%	97.5%	100.0%
B.人コスト		13,981	14,202	14,073	3,339	4,676	
総事業決算額（A+B）		34,721	36,048	35,661	28,181	33,252	
予算書P（令和6年度）	P259-13	執行実績報告書P（令和5年度）			P195-13		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報酬	文化財保護指導員報酬等	14,327	報酬	文化財保護指導員報酬等	15,328	報酬	文化財保護指導員報酬等	18,632
職員手当等	文化財保護指導員等期末手当	2,623	職員手当等	文化財保護指導員等期末手当	2,777	職員手当等	文化財保護指導員等期末手当等	6,769
旅費	出張旅費	69	報償費	講師謝礼	25	旅費	出張旅費	100
需用費	消耗品費等	82	旅費	出張旅費	69	需用費	消耗品費等	150
役務費	回線使用料等	110	需用費	消耗品費等	108	役務費	回線使用料等	128
委託料	文化財調査委託経費等	3,514	役務費	回線使用料等	309	委託料	文化財調査委託経費等	2,487
使用料及び賃借料	サーバ使用料等	411	委託料	文化財調査委託経費等	5,777	使用料及び賃借料	サーバ使用料等	611
工事請負費	説明版設置工事	543	使用料及び賃借料	サーバ使用料等	441	工事請負費	説明版設置工事	943
負担金補助及び交付金	文化財保護奨励金等	3,167	工事請負費	説明版設置工事	451	負担金補助及び交付金	文化財保護奨励金	1,600
			負担金補助及び交付金	文化財保護奨励金等	3,295			

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	史跡説明板設置数				単位	基
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		132		目標	114	116	118	120
				実績	114	115	115	117
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	123	126	126	128	130	132
	実績	117	118	118	121			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	史跡説明板は、区の歴史や文化財を区民に知っていただくために非常に有用な施設である。経年劣化による取替えや、外国人観光客の増加に伴う英文の追加等、新規の設置以外にも取り組んでいることを踏まえ、目標値とした。ここ数年は、経年劣化による板面交換や金属部材の価格高騰等の理由で目標値に達していないため、令和4年度に目標値を見直した。令和5年度は新設1件、新たに管理することになった既設説明板2件、板面交換2件である。令和6年度は新設3件、立替え1件の工事を予定している。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	区登録文化財数				単位	件
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
166			目標	142	145	148	151	
			実績	142	144	147	148	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		154	158	154	158	162	166	
実績	149	150	153	155				
指標の選定理由及び目標値の理由								
文化財を登録・指定するために、積極的に調査を行い貴重な文化財を保護している。調査は1件ごとにかかりの時間を要することを踏まえた目標値とした。令和4年度に登録文化財候補や年間登録数を見直し、年間4件程度の登録を目指す。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	文化財登録のための文化財調査及び文化財保護審議会の実施が適切に行われており、文化財の普及のための史跡説明板の設置や、文化財に関する刊行物の発行、史跡めぐり等も行っている。文化財の保護・管理は、文化財保護法により地方公共団体の任務とされており、現状維持で継続する。

課題・問題点
文化財を保護するためには、それを調査し、その価値を認め、文化財登録して保護していく必要があり、効率性を求めることが難しい。また、その価値を区民に知っていただくことが保護につながるため、史跡説明板や刊行物等で文化財の周知を行っているが、今後も様々な機会を捉え、文化財の普及・啓発を図っていく必要がある。

施策	111	郷土の歴史・文化を継承し、発展させる				部内優先順位
事業名	埋蔵文化財発掘調査と保管場所				4	
目的	昭和25年に施行された文化財保護法及び平成11年制定の墨田区埋蔵文化財取扱要綱に基づき、墨田区内における埋蔵文化財の保存・活用に努める。				主管課・係(担当)	
					地域教育支援課・文化財担当	
					03-5608-6310	
対象者	埋蔵文化財に関心のある方、埋蔵文化財への普及・啓発を図りたい区民、区内に建設予定がある事業者及び関係機関					
根拠法令	文化財保護法					
関連計画	墨田区文化財保護条例及び施行規則					
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2、会計年度3(うち、事務補助1)	
事業内容	<p>土地に埋蔵されている文化財である埋蔵文化財の保護を図るため、墨田区埋蔵文化財取扱要綱を定め、同要綱に基づき開発予定地において試掘調査を行うことにより、開発工事前の遺跡(文化財包蔵地)の発見に努めている。試掘によって発見された遺跡は、文化財保護法の趣旨が適切に守られるよう開発事業者に対して協力を求めることにより、遺跡の調査及び保護を行っている。また、遺跡から出土した遺物は、一般公開ができるよう整理・保存を進めている。</p>					
経過	開始年度				終了予定	
	<p>昭和25年 文化財保護法施行 平成11年 墨田区埋蔵文化財取扱要綱施行</p>					
議会質問の状況						
その他特記事項	令和2年度からひきふね図書館で区内で出土した埋蔵文化財の常設展示と企画展示を実施している。					

予算・決算額推移(単位:千円)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額(事業費)		13,903	13,720	16,395	22,640	22,072	39,619
A.決算額(令和6年度は見込み)		11,398	11,976	14,587	20,838	19,992	39,619
財源	国	5,517	4,687	7,222	10,339	9,502	9,436
	都	2,140	1,843	2,908	4,483	4,054	3,658
	その他						
一般財源		3,741	5,446	4,457	6,016	6,436	26,525
執行率(%)		82.0%	87.3%	89.0%	92.0%	90.6%	100.0%
B.人コスト		3,495	3,586	3,518	13,131	13,187	
総事業決算額(A+B)		14,893	15,562	18,105	33,969	33,179	
予算書P(令和6年度)	P259-13(3)(4)	執行実績報告書P(令和5年度)			P195-13(3)		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	調査指導謝礼	0	需用費	消耗品	669	報償費	調査指導謝礼	205
需用費	消耗品	573	委託料	試掘調査等	19,182	需用費	消耗品	1,542
委託料	試掘調査等	20,123	使用料及び賃借料	PC借上等	142	委託料	試掘調査等	36,676
使用料及び賃借料	PC借上等	142				使用料及び賃借料	埋蔵文化財施設借上	983
						工事請負費	埋蔵文化財施設警備システム工事	213

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	埋蔵文化財包蔵地照会件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
				目標	-	-	-	-
				実績	3,460	3,418	3,905	3,780
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
			目標	-	-	-	-	-
		実績	3,579	6,279	12,231	9,124		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区の働きかけによって増減する値でないため、目標値は定めない。 令和3年度から「すみだまちづくりマップ」に包蔵地情報を掲載したため、当該サイトへのアクセス件数も照会件数に含めた。この効果により、窓口や電話での照会件数が前年度より減少し、事務の軽減を図ることができた(窓口2,206件、まちづくりマップ6,918件)。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	埋蔵文化財調査件数(試掘・本発掘)				単位	件
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
60			目標	24	26	28	30	
			実績	12	24	30	36	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目標	32	34	60	60	60	60
	実績	47	75	101	64			
指標の選定理由及び目標値の理由								
埋蔵文化財行政の実施状況は、調査実施件数で把握することが最も適切である。目標値の調査件数については、発掘調査は開発事業者の協力のもと実施していることや、開発行為の増減等の理由により、調査件数を大きく増やしていくことは難しい。近年の開発行為の増加や上記照会件数の増加等の理由により、調査件数が増えている。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	文化財の保護・管理は、文化財保護法により地方公共団体の任務とされており、現状維持で継続する。

課題・問題点
<p>内部評価 試掘調査及び本調査が増加しているため、職員の負担が過大である。事務的な業務を係全体でフォローしていく必要がある。</p> <p>外部評価 埋蔵文化財の照会が増加しているが、発掘調査等は事業者の負担が大きいため、事業者の理解と協力が不可欠である。今後も、事業者に十分な説明を行い理解を求めて円滑に実施していく必要がある。</p>

施策	111	郷土の歴史・文化を継承し、発展させる			部内優先順位
事業名	立花大正民家園維持管理				5
目的	墨田区立公園(立花大正民家園)内にある旧小山家住宅を、区の指定文化財として保存するとともに、人形展などの事業や建物内居室の有料貸出を通じて活用する。				主管課・係(担当)
					地域教育支援課 すみだ郷土文化資料館 03-5619-7034
対象者					
根拠法令 関連計画	墨田区文化財保護条例、都市公園法、墨田区公園条例、同施行規則				
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤1・会計年度任用1、委託先:シルバー人材センター
事業内容	<p>墨田区立立花大正民家園の運営及び維持管理 立花大正民家園旧小山家住宅に係る使用の承認、取消し及び変更の承認並びに使用料の減額免除及び返還の承認並びに維持管理 立花大正民家園旧小山家住宅での展示事業の実施</p>				
経過	開始年度	平成11年度		終了予定	
	<p>平成10年度 建物の寄贈を受ける 平成11年度 文化財登録(平成11年2月)開園(平成11年7月1日) 平成16年度 生涯学習課文化財担当より移管 平成22～23年度 東日本大震災の発生に伴い平成23年3月12日から12月31日まで休園 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日(土)～5月31日(日)及び 令和3年4月27日(火)～5月31日(月)臨時休園 園外周のブロック塀改修工事のため、令和5年11月20日(月)～6年1月19日(金)臨時休園</p>				
議会質問 の状況	<p>令和2年予算特別委員会 民家園の利用促進について 令和3年決算特別委員会 民家園の利用促進について</p>				
その他 特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額(事業費)		6,445	5,417	5,965	5,965	6,464	6,819
A.決算額(令和6年度は見込み)		5,541	4,657	5,511	5,657	6,113	6,819
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	33	4	33	24	15	35
一般財源		5,508	4,653	5,478	5,633	6,098	6,784
執行率(%)		86.0%	86.0%	92.4%	94.8%	94.6%	100.0%
B.人コスト		2,621	2,647	2,639	2,454	2,554	
総事業決算額(A+B)		8,162	7,304	8,150	8,111	8,667	
予算書P(令和6年度)	P260-14	執行実績報告書P(令和5年度)			P195-14		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	光熱水費、消耗品	130	需用費	光熱水費、消耗品	176	需用費	光熱水費、消耗品	241
役務費	樹木剪定等	1,198	役務費	樹木剪定等	2,214	役務費	樹木剪定等	2,545
委託料	管理業務委託	3,234	委託料	管理業務委託	2,966	委託料	管理業務委託	3,608
使用料及び賃借料	消火器リース	10	使用料及び賃借料	消火器リース	10	使用料及び賃借料	消火器リース	10
工事請負費	維持補修費	286	工事請負費	維持補修費	748	工事請負費	維持補修費	415

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	住宅内の特別展示回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2	令和7年度	目標	2	2	2	2
				実績	2	2	2	2
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	2	2	2	2	2
		実績	0	2	2	2		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	施設への関心を高め、入園者数を増加させるために有効な特別展示(雛人形展と五月人形展)回数を指標とした。施設に負荷をかけず文化財として保護していくために実施回数は現状維持が適切である。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	入園者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2000	令和7年度	目標	2,000	2,000	2,000	2,000
				実績	2,088	1,911	1,822	1,429
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	実績	1,521	1,658	1,785	2,047			
指標の選定理由及び目標値の理由								
入園者数に応じ、区の指定文化財である旧小山家住宅に対する関心度を確認することができる。令和5年度は、ブロック塀の改修に伴う2か月間の休園があったものの、雛人形展の周知を強化したことで目標値を上回った。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	令和5年度は来園者数がコロナ前の水準を超え、目標値を達成した。旧小山家住宅は、区の貴重な指定文化財であるため、常に一定の補修を行いながら耐久性・安全性を確保した上での活用方法を検討していく。

課題・問題点
旧小山家住宅内を無料で一般公開する一方、公開による見学者が支障をきたさない条件下で住宅内を有料貸出している。築100年を超える建物のため、文化財保護審議会委員の助言を受け、老朽化した箇所を修繕していきながら運営する必要があり、保存と活用の両立を図っていく必要がある。